江田島市 議会だより

江田島市議会
第73号
令和5年2月1日

新年のごあいさつ
議会で取り組みたいこと

本年も江田島市議会をどうぞよろしくお願い申し上げます。

議長
吉野　伸康

副議長
平川　博之

新たな1年へ

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、令和5年の新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年は、社会・経済・生活情勢が激しく、さまざまに変化をするという経験のない新たな時代にあり、本市においても、今後のまちづくりは、時代の流れとともに新しい発想や知識が必要となってきています。私たち議員も日々勉強し、課題の解決に向けて実行しつつ、時代に沿った新たな取り組みを積極的に推進していく意気込みであります。

さて、今号の特集の一つとしまして、議員一人一人がこの一年、議会で取り組んでいきたいことを掲載していますので、ぜひ、ご一読ください。

山本　一也

地域の第１次産業活性化

自然と大きく関わりがある、第１次産業を環境保全と組み合わせて活性化できるよう取り組んでいきたいです。

吉野　伸康

市民の生活を第一に！

議員が取り組みたいことはさまざまでも、市を良くしたい思いは一緒です。志を一つに、市発展のために頑張ります。

沖　也寸志

安心・安全なまちづくり

有害鳥獣による被害が後を絶ちません。市民の皆さまが安心・安全に暮らせるよう、改善に向けて尽力します！

沖元　大洋

心豊かに暮らせる江田島市に

子どもから高齢者までどの世代も豊かに暮らせる、住みよいまちづくりを目指し、取り組んでいきます。

長坂　実子

市政発展に全力で取り組みます

安心して暮らせるまちづくりは市民の願い。皆さまの声を行政に反映するよう一般質問や委員会活動に励みます。

岡野　数正

市民の立場に立った議員・議会に

市民の代弁者として市民の立場に立ち、市民の声をしっかりと受け止め、市政に反映できる議員・議会を目指します。

上本　雄一郎

海生交流都市にふさわしい海を

住む人も訪れる人も喜ぶ美しい海辺になるよう、海ごみの少なくなる仕組みを提案し、里海の保全に取り組みます。

平本　美幸

働くものが報われる市政を

誠実に働いている市民の方が報われるよう、希望が持てる江田島市へ一歩ずつ前進していきます！

浜西　金満

市民の声を市政に届けます

市民一人一人の声を市政に届け、市民が暮らしやすくなることを実現します。

上松　英邦

市民の負託に応えます！

市民一人一人の小さな悩み、不安、不満を一つでも解消できるよう市民の負託に応える議会を目指します。

酒永　光志

地域と行政のパイプ役に

皆さまの声を市政に届け、江田島市民として住み続けられるまちづくりを目指し、全力で頑張ります。

平川　博之

一人の人を大切に！

皆さまの声をしっかり届けていき、皆さまと共に前進していきます。

古居　俊彦

江田島市に元気を！

江田島市を元気にするためにガンバっています♪地域の子育てから、高齢者の福祉まで取り組んでいきます！

美濃　英俊

みんなでつくる江田島の未来

今何が出来るのか？
また、何をするべきか？
地域の方々と共に前向きに考えて取り組みます。

筧本　語

市政の主役は市民です！

主役である市民一人一人の意見をしっかりと聞き取り、皆さまの貴重なご意見を市政へ届けていきます。

宮下　成美

未来に向けて！一歩ずつ！

次の世代により良い未来と、江田島を残すことができるように小さな声にも大きく耳を傾け、声を聞き届けます！

どんな江田島市になってほしいですか？

議会広報特別委員が幅広い年代の市民の方から
将来の江田島市についてインタビューを行っています。

若年世代が活躍できるまちへ！

私は、若年世代の人が活躍できる江田島市になってほしいと思います。

江田島市には多くの魅力があるにもかかわらず、若年世代の人が活躍できる場所が少ないため、島外に出て、仕事をするために広島市内などに住まなければいけない人が多いのではないかと考えます。若年世代が活躍できる場所を提供することは、島内の人口を増やすだけでなく、若い力を最大限生かした活発で豊かな江田島市をつくることにもつながると思います。

坂口　莉來　さん
（能美町鹿川）

若い人が住んでみたくなるまち

江田島市は若い人が少なくなっています。

なぜ？都会は、仕事の選択肢も多く、なんといってもキラキラ感は魅力的です。私も仕事は広島市内ですが、毎日通勤しています。江田島市のゆっくりと流れる時間や雰囲気、気軽に声掛けをする人間関係が好きで、地元から離れることができません。この素晴らしい環境を多くの人に知ってほしいので、もっと江田島市の良さを発信してほしいですね。

ＩＬＯＶＥ ＥＴＡＪＩＭＡ

山口　千尋　さん
（江田島町幸ノ浦）

自分たちで率先して

若い頃は島から出たくて街に住んでいました。しかし、結婚し子どもができたとき、育てるのは、やはり島が良いと思い、Ｕターンしました。野山を駆け巡り、海で泳ぐ。自然の中で遊ばせ、学ばせたいと考えたからです。

将来も自然を楽しめる環境を、自分たちで率先して創りたいと考えています。そこに島の魅力を感じているからです。運よく同じ世代の、同じような考えの仲間にも恵まれました。仲間とともに江田島市の未来を創っていきます。

向井　亮太　さん
（大柿町深江）

充実した福祉を目指して

私は、この島で生まれ育ちました。そして、結婚をし、子育てをしながら福祉の仕事に就いています。江田島市は海に囲まれて、温暖で過ごしやすい環境なので、子どもたちものびのびと成長しています。でも、高齢化がどんどん進み、年々利用者の方が増えています。一人一人に応じたしっかりとしたサービスを心掛けながら、自分自身も成長していきたいと思います。そのためにも、福祉に対する理解や働きやすい職場づくりに力を入れてほしいと思います。

空久保　智恵　さん
（沖美町畑）

次世代へ向けての支援を

私は、花卉の栽培業に従事しています。農林水産課の担当者の方にはとても頑張っていただいていますが、一方で、生産者の高齢化や後継者不足は課題の一つでもあります。

若手農業従事者が活躍できる環境づくりや、子どもたちへの援助に力を入れて、島外からも島へ来て暮らしたくなる様な環境づくりに取り組んでいただきたいです。まちづくりも苗作りも過程が大切です。どんな種を育てるか一丸となって考えていかなければならないと思います。

村上　浩司　さん
（大柿町飛渡瀬）

若い人が住み続けられる江田島市を

若い人が住み続けるには、雇用の場を増やすことが一番重要。企業誘致に力を入れ、若い新しい風を入れつつ、生まれ育った人が住み続けられる江田島市にしてほしい。

また、江田島市には、牡蠣や柑橘、オリーブなど質の高い一次産品、盛んなマリンスポーツ、歴史文化など自慢できるものがたくさんある。魅力をＰＲできる体制をしっかりつくり、外から人を呼び込み、また、生まれ育った人が江田島市の魅力に親しめる取り組みに力を入れてほしい。

樋口　元武　さん
（大柿町深江）

令和４年 12 月
定例会
会期：12/13・14

選挙・・・１件
報告・・・１件
同意・・・５件
諮問・・・４件
議案・・・22 件

全ての議案名は、
市ホームページで
ご覧いただけます。

この中から３つを
詳しく解説！

インターネットで本会議の映像を視聴できます！

本会議のライブ中継・録画映像は、ご自宅のパソコンやスマートフォンから視聴できます。

江田島市議会　中継　検 索

Point 1

プレジャーボートを係留保管する際の使用料の徴収時期を変更

議案第 72 号　江田島市港湾施設等設置及び管理条例及び江田島市漁港管理条例の一部を改正する条例について

放置艇解消のために係留可能場所の指定等整備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、関係者と話し合いの機会を十分に確保できず進捗に遅れが生じているため、使用料の徴収開始時期を令和５年度から令和７年度へ変更します。

こんな質問が出ました

Q 放置艇の数はどれくらいあるのか。

A 令和２年度調査では、本市管理の港湾施設に約４００艇ほどとなっています。

Point 2

（仮称）切串交流プラザと認定こども園きりくしの新築工事がスタート

議案第 73 号（仮称）切串交流プラザ及び認定こども園きりくし新築工事（建築）請負契約の締結について

切串公民館と認定こども園きりくしを再編し、新たな地域拠点となる複合施設として、（仮称）切串交流プラザおよび認定こども園きりくしを新築します。

契約金額　４億７，９１６万円
請負業者　株式会社大柿産業（大柿町飛渡瀬）
工　　期　令和６年２月 29 日まで

こんな質問が出ました

Q こども園の玄関ホールが２階にあるが保護者への説明は。

A 子どもたちを２階まで連れて来ていただくよう、運用開始時期に説明をし、事故の起こらないように努めます。

Point 3

江田島市一般会計補正予算が可決

議案 77 号　令和４年度江田島市一般会計補正予算（第４号）

国庫支出金、県支出金、繰入金を計上し、約５億４，０００万円の増額補正です。

- 物価高騰による、家計の負担軽減のため、家事専用水道料金の基本料金を減免します。
  ※２月検針分の請求が対象

- 物価高騰による、学校や保育施設の給食材料費の値上がり分に対して交付金を充てて対応します。
- 新型コロナウイルス感染症の対応をしながらの空調利用や、電気料金の値上がりを受け、当初予算を大幅に超えたため約４，３００万円の電気代を計上しています。

市の考えを問う

一般質問

質問者　９人

1	岡野　数正	道路の老朽化および通行障害対策について問う
2	古居　俊彦	金融教育について学校ではどう教えているのか
3	平本　美幸	旧ユウホウ紡績工場跡地について
4	宮下　成美	不登校児童生徒の状況および支援について
5	長坂　実子	介護予防・フレイル予防のさらなる充実を
6	酒永　光志	沖美ふれあいセンターの空調設備の修理を早急に
7	美濃　英俊	空き家対策の補助金について。補助金予算を来年度も含めどのように考えるか問う
8	筧本　語	陸上公共交通の改善について
9	上本　雄一郎	ふるさと納税のさらなる取り組みを

ＱＲコードを読み取ると録画映像が視聴できます。

岡野　数正

道路の老朽化および通行障害対策について問う

答　適切に補修予算を確保し、市民生活に支障がないよう対応する

問　道路の補修を要望した場合、予算がないからすぐにはできないという声を聞くが、道路補修予算は十分に確保できているのか。

答　経年劣化による路面の凹凸が進行している場合、予算の範囲内で優先順位をつけながら施工しています。今後は、必要な予算の確保と計画的な道路補修に努めます。

問　現在、里道に対する災害崩土は除去するが、イノシシの掘り返しによる崩土は除去できないとある。利用者にとっては、同様の通行障害なので何とかならないか。

イノシシによる通行障害

答　現在、イノシシによる里道の崩土の除去は、土地の所有者等により対応していただいています。

しかし近年、土地所有者等の高齢化や市外居住などで対応が難しくなってきました。そのため土地所有者等による崩土除去が困難な場合には、里道を利用されている皆さまの生活に支障が生じないよう対応していきます。

イノシシ被害対策の強化は

問　市内全域に広がるイノシシ被害は、農作物のみならず石垣の崩壊やケガ人まで発生しており、さらなる強化策が必要では。

答　イノシシの生態や行動等を正しく理解し、地域が一体となってイノシシを寄せ付けない取り組みを強化します。

おわりに

現状の取り組みでは、事態の改善が困難である。次期計画では、ワンランク上の具体的強化策、つまり結果を出せる計画となるよう英知を結集し、実効性のある計画としてもらいたい。

古居　俊彦

金融教育について学校ではどう教えているのか

答　「物や金銭の大切さ」や「経済や金融の仕組み」などの授業を行い、金融教育に取り組んでいる

問　学校における金融教育について、具体的にはどのように教えているのか。

答　小学校では、買い物の仕方や消費者の役割、物や金銭の大切さと計画的な使い方について、中学校では売買契約の仕組みに加え、消費者被害の背景や対応について、いずれも家庭科の授業で学んでいます。さらに、中学校の社会科では、経済や金融の仕組みについて学習しています。高等学校においても、現代の経済・社会について学習しています。

問　外部講師を招いての授業は。

答　特別活動や総合的な学習で消費生活相談員や銀行員などに来てもらうことは可能ですので、各小中学校に紹介していきたいと考えます。

問　一般市民や成人へのＰＲの対応は。

答　特殊詐欺等の犯罪防止に係る注意喚起を行っています。新成人に対して、消費者トラブル防止のための冊子や、トラブル回避マニュアルなどを配布しています。

問　市内での特殊詐欺の発生件数はどうか。

答　令和２年はなく、令和３年は２件、令和４年は１件です。実際には、警察に相談したものの羞恥心や家族に秘密にしておきたいなどの理由から、被害届は出さず、事件となっていないものがあります。警察署からは、「もっと多くの被害が発生しており、被害者の多くは高齢者である」とも聞いています。

おわりに

今年から、成人の年齢が引き下げられており、金融教育・ＰＲは大変重要なことなので、市でもさまざまな角度からサポートしてもらいたい。

平本　美幸

旧ユウホウ紡績工場跡地について

答　江田島市の強みをしっかりと出し、本市にとって有益な企業誘致を目指す

問　今年度、江田島市大柿町大君にある旧ユウホウ紡績工場跡地への企業誘致活動を促進するため、土地などの整理業務を行う予算が、２０００万円計上されている。これまでの経緯・今年度の進捗状況・今後の見通しについて伺う。

答　令和３年３月にリベラ株式会社様から約４・６ヘクタールの工場跡地の他、隣接地など併せて５・３ヘクタールの土地を寄附していただきました。この土地への企業誘致を成功させるため、今年度は土地の状況を把握する調査業務の委託料を計上しています。今後、この調査結果を踏まえて、課題を整理した上で企業誘致に向けた公募条件を整えていきます。

問　江田島市において寄附の申し出や受納に関するルールがないことについての考えは。

答　原則として、公共的な利用計画がなく、将来的にも利用の見込みがない場合は、寄附を受納していません。ルールを定めることで寄附申出者にご理解いただけるよう検討します。

問　土地の調査方法は。

答　①地中レーダー探査機により地表下約３ｍ程度に埋設されている構造物の位置や状態を把握します。

②水源調査として、河川や山林からの水源２カ所の水量および水質を検査します。

①②の情報をもとに、報告書をまとめ、企業誘致をする際の基本情報として活用します。

問　当該土地に企業誘致をする際の江田島市のメリット・デメリットは。

答　他市町と比べ、土地を無償で譲り受けていることから、価格面での優位性があります。流通に関しては、アクセスの点で劣っていますが、アピールポイントを十分整理し、公募をしていきます。

旧ユウホウ紡績工場跡地

宮下　成美

不登校児童生徒の状況および支援について

答　児童生徒一人一人の状況を把握し、保護者や関係機関とも連携しながら、きめ細やかな支援に努める

問　本市における不登校の状況は。

答　増加傾向にあることから、大きな課題であると考えています。不登校の要因としましては「無気力・不安」「人間関係」「生活リズムの乱れ」が中心となっており、要因が複合している事案もあります。不登校傾向にある子どもたちの状況把握や支援策については、支援会議を開催し、指導内容等の改善をはかり、教員の連携をはかっています。教育委員会では、不登校に関する研修も行っています。

問　不登校SSR（スペシャルサポートルーム）をどのように活用し、支援をしているか。

答　児童生徒にとって、快適な環境となるよう教室の整備を行い、一人一人に応じたサポート計画を策定し、学習支援等を行います。県の指定を受け、大柿中学校では令和3年度から、能美中学校では令和4年度からSSRを設置しており、SSRを利用する生徒は、自分の決めた時間の中で学習を進めたり、興味・関心の高いことに挑戦したりするなどして活動しています。不登校傾向にあった生徒が、SSRを利用することによって登校できるようになった事例もあります。

問　小学校や、江田島中学校にもSSRを設置できないか。

答　SSR推進校を拡充したいと考えており、江田島中学校も加え、3つの中学校に設置できるよう、広島県教委に要望しています。小学校への拡充については、予定していませんが、検討していかなくてはならないと考えています。

問　不登校対策について、教育長の思いや考えは。

答　「不登校児童生徒に問題がある」との決めつけを払拭し、教員や保護者等が「子どもの気持ちに寄り添う姿勢」を持つことが大切です。どの子どもも卒業後は社会人となります。子どもの自己肯定感を高め、周りの大人との信頼関係を構築することが重要です。

長坂　実子

介護予防・フレイル予防のさらなる充実を

答　必要な支援を行い、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活ができるよう事業を推進する

問　少子高齢化が進行する本市において、地域共生社会に向けた地域包括ケアシステムの強化と福祉の充実は非常に重要である。「健康寿命の延伸」は本市の施策の重点テーマである。本市で介護が必要になる一番の原因は骨折やフレイルで、介護フレイル予防に力を入れているが、リハビリ専門職や保健師などの専門職による地域での取り組み状況は。

答　百歳体操の場で、保健師や栄養士が出前講座で栄養指導をし、また、昨年度から理学療法士が指導助言をしています。

問　理学療法士の昨年度の指導は通いの場71カ所のうち、2カ所で少ない。市民は出前講座や訪問指導を知らない。市民への周知や定期的な訪問指導をしては。

答　保健師が年に1回定期訪問し、理学療法士もなるべく訪問します。

問　閉じこもりの高齢者やフレイルで通いの場に来られない人への介護フレイル予防は。

答　現在作成中の本市独自のDVDを活用します。

要望　専門職が関わる個別の支援の充実を要望する。

問　専門職に求められる役割を考えると、人員強化が必要では。地域包括ケアの体制づくりが全国的に進み、例えば広島市は計画的に保健師を増員している。どう考えるか。

答　現在の保健師の体制では訪問活動が十分でないのも事実で、事務改善して対応しています。令和6年度からの定員適正化計画の策定に向け、保健師等の専門職の採用のあり方を検討します。

おわりに

福祉は地方自治の根幹であり、命や健康に関わり、地に足をつけた活動が必要である。誰もが住み慣れた地域で暮らせる社会にするため、健康寿命の延伸や子育てしやすい環境づくりのためにも、保健師などの専門職の人員強化を要望する。

百歳体操

酒永　光志

沖美ふれあいセンターの空調設備の修理を早急に

答　多額な費用がかかることが判明、全市的な視野で対応方針を検討する

問　沖美ふれあいセンターふれあいホールの空調設備が故障し、修理がなされないまま1年が経過し、ホールは夏と冬の間は使用できない状況にある。地元自治会や各文化団体から、「早期の修理を」との声が届いていると思うが、修理がなされないまま現在に至っている理由は。

答　当該施設の空調設備の修繕は、多額な費用を要することが判明したため、全市的な視野で対応方針を検討することとなりました。

問　今後の修繕計画については。

答　ふれあいホールの空調設備だけでなく、施設・設備の修繕計画の基となる劣化状況調査を新年度予算で計上し、施設の将来的なあり方を検討の上、修繕計画を策定したいと考えています。

問　ふれあいセンターは、新耐震基準にも適合し、避難施設としても安心して利用でき、今後数十年は活用できる施設であり、活用しなければならない施設であると思うが考えを伺う。

答　沖美ふれあいセンターは新耐震基準を満たしており、メンテナンスを行いながら今後も使い続けていく施設です。

おわりに

「江田島市公共施設等総合管理計画」には「公共施設の整備・更新・維持管理を計画的かつ効率的に行い、十分な安全性を確保しつつ、可能な限り長寿命化を図る」とあり、「新耐震基準で整備された公共施設は定期的に修繕工事を実施し、良好な状態に保ち、将来にわたり有効活用する」とあるが、現在の沖美ふれあいセンターは、良好な状態が保たれているとは言えず、年間を通じた利活用ができるよう、スピーディーな取り組みを重ねてお願いする。

沖美ふれあいセンター

美濃　英俊

空き家対策の補助金について。補助金予算を来年度も含めどのように考えるか問う

答　予算確保に努めるとともに国の制度も活用します

問　空き家対策の補助事業において10月5日時点でほぼ予定件数に達している。補正で予算を追加しているが、補助金の予算をどう考えるか。今後も増えるであろう空き家の問題。来年度以降の考えも含め問う。

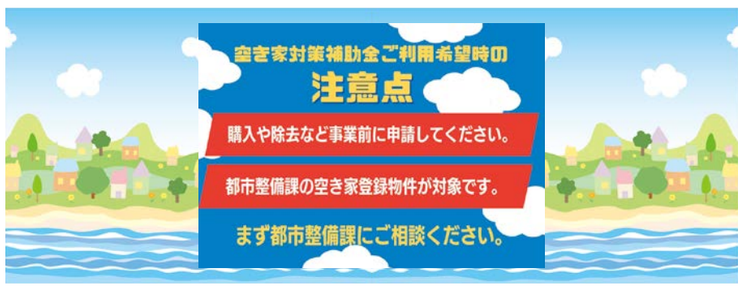
答　空き家等対策推進補助については、地域活性化に資する活用促進に対するものと、地域住民の生活環境の保全をはかることを目的として、相続登記、危険家屋除去、購入、修繕など8つの補助を行っています。昨年度空き家所有者等に補助制度に関するチラシを送付した効果があり、想定予算を上回ったものと考えています。

令和5年度以降の予算については、近年の申請実績を踏まえ、予算確保に努めるとともに、購入補助等については国の補助制度も活用し、市の財政負担の軽減にも努めます。

おわりに

空き家が放置されると、近隣住民の安全不安、衛生不安、景観の不満など、環境の保全を担保できない。

また、執行部においても相当な労力がかかること、費用の回収の不安などさまざまな問題が発生する。高齢化の進む江田島市では、今後ますます空き家は増加するものと想定される。執行部や我々議員だけでなく、自治会や市民の皆さまにも協力を仰ぎ、次世代に負の財産を残さないように対応されたい。



筧本　語

陸上公共交通の改善について

答 便利で使いやすい公共交通網の形成に取り組み、さらなる利用の促進に努める

問 平成24年4月に休止された、小用・大須、差須浜線の路線バスの復活は可能であるか。

答 この路線は、路線バスは運行していないものの、路線バスと同じ運行形態の「江田島北部朝夕便」が、朝と夕方の時間帯に、毎日3往復、また、日中の時間帯については、予約に応じて運行する乗合タクシーの「江田島北部線」が週3日5往復運行しています。令和3年度の利用状況を見てみますと、江田島北部朝夕便が1日当たり約6人、江田島北部線が1日当たり約44人となっています。路線バスを運営する江田島バスでは、大変厳しい経営環境に置かれながら、人材、車両などの限られた資源を効率的に運用することで、公共交通の役割を果たしていただいています。こうしたことから、現在の利用状況を踏まえますと、この間の路線バスでの運行はハードルが高いものと考えています。

問 地域公共交通の活性化や効率化について、どのように考えているか。

答 実際のニーズがあり、かつ、費用対効果が高いと見込まれるものは、積極的に推進に取り組むことで、公共交通の存続をはかっていく必要があると認識しています。

高齢化が著しい本市にとって、地域公共交通は、市民の皆さまの生活を守る大切な移動手段であることから、引き続き便利で使いやすい公共交通網の形成に取り組み、さらなる利用の促進に努めます。

問 BUSitやPASPYに関する今後の対応は。

答 BUSitは、利用者の利便性が著しく損なわれない限り、継続して使用したいと考えています。

PASPYに替わる新システム導入に当たっては、市民の皆さまにとって便利で望ましいシステムを選択するよう、もう少し他社の状況を注視しながら見極めていきます。

平成24年4月に休止された江田島町北部路線バス

上本　雄一郎

ふるさと納税のさらなる取り組みを

答 魅力ある返礼品の充実に努め、産業の振興や交流人口の拡大に寄与する取り組みとしたい

問 江田島市が今後も活力を保持し続けるには、自主財源の確保が求められる。とりわけ「合併特例債」の発行ができなくなる、令和7年度以降の予算を編成するにあたっては、自主財源次第で施策の幅が決まるといっても過言ではない。先進自治体の取り組みに学びながら、ふるさと寄附金の受け入れ拡大に努める必要がある。3F（フルーツ・フラワー・フィッシュ）をはじめとする返礼品の拡充およびブラッシュアップの状況はどうか。

答 平成27年度から取り組みを進める本市の返礼品は、開始当初は牡蠣やお酒、調味料や工芸品など13事業者で23品目でした。

ここから、市内事業者の皆さまのご協力と受託事業者の取り組みにより、セット商品の展開や新たな返礼品の出品がなされ、本年10月現在で、市内34事業者の皆さまから約230品目を出品いただいています。

現在、本市の恵みである果物や花、海産物など3Fに関する返礼品をはじめ、いちご狩りやマリンスポーツ体験チケット、宿泊券を含む体験型の返礼品についても、出品される事業者が増えてきています。

今後も、事業者の皆さまのご協力をいただきながら、魅力ある返礼品の充実に努め、特産品の磨き上げによる産業の振興や体験型メニューの開発による交流人口の拡大に寄与する取り組みとしたいと考えています。

問 官民協働でふるさと寄附金をさらに拡大していくにあたり、市がその司令塔的な機能を発揮していくため、この業務に注力できる組織づくりが必要であると感じるがどうか。

答 どのような体制づくりがふるさと納税を通じた自主財源の確保と魅力発信、産業振興につながるのか、本市にとって大切な取り組みと認識していますので、来年度の組織体制づくりの中で検討していきます。

わがまちの誇る柑橘類やお花など返礼品のさらなる拡充が望まれる

令和4年12月定例会で同意・可決された議案

＊全議員が同意・賛成しました。

- 公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて　他3件
- 人権擁護委員候補者の推薦について　他3件
- 江田島市情報公開・個人情報保護審査会設置条例案について
- 江田島市手数料条例の一部を改正する条例案について
- 江田島市情報公開条例の一部を改正する条例案について
- 江田島市個人情報保護条例を廃止する条例案について
- 江田島市と広島県との間における行政不服審査会事務の事務委託に関する規約の変更に係る協議について
- 江田島市職員定数条例等の一部を改正する等の条例案について
- 江田島市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について
- 江田島市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案について
- 江田島市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案について
- 江田島市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案について
- 江田島市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案について
- 江田島市会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について
- 江田島市港湾施設等設置及び管理条例及び江田島市漁港管理条例の一部を改正する条例案について
- （仮称）切串交流プラザ及び認定こども園きりくし新築工事（建築）請負契約の締結について
- 公の施設の指定管理者の指定について
- 広島県市町総合事務組合規約の変更に係る協議について
- 令和4年度江田島市一般会計補正予算（第4号）
- 令和4年度江田島市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和4年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第2号）
- 令和4年度江田島市港湾管理特別会計補正予算（第1号）
- 令和4年度江田島市水道事業会計補正予算（第2号）
- 令和4年度江田島市下水道事業会計補正予算（第2号）

追跡　あの質問どうなった！？

一般質問で執行部が「協議します」や「検討します」と答弁した内容について、その後どのようになったのかをお知らせします。

江田島市の地域公共交通は

令和4年6月議会

問 利用者の減少で、公共交通の維持が厳しくなっている中、法改正により高齢者の免許証返納が進むと考えられる。

このことから、生活に必要な移動対策をどうするのか。

答 一部地域で改善

12月1日にバスのダイヤ改正が行われ、通院や買い物等の利便性が一部の地域で改善。

イノシシの処理施設は

令和3年9月議会

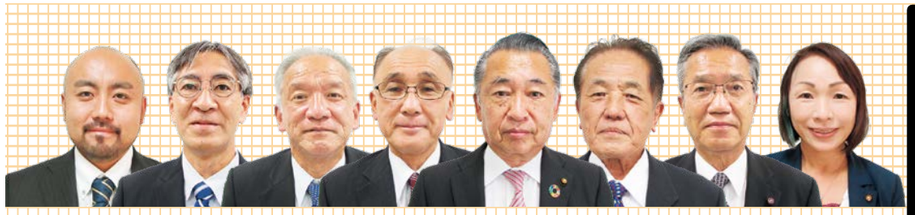
問 年間1000頭を超え、捕獲するイノシシの埋設場所が少なくなっている。今後のことを考えると、処理施設が必要ではないか。

答 現在も協議中

一般廃棄物として埋め立てや焼却処分ができないかなど協議中。

総務文教 常任委員会

総務部、企画部、危機管理監、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防および教育委員会の所管に関する事務ならびに他の委員会に属さない事務



宮下委員　古居委員　浜西委員　上松副委員長　岡野委員長　山本委員　酒永委員　平本委員

主な活動内容

- 10月5日（水）
  総務課・財政課への聞き取り調査
  行財政経営計画の進捗状況や基金管理の状況について
- 11月7日（月）
  執行部への聞き取り調査をもとにした今後の調査項目のまとめ
- 12月21日（水）
  企画振興課・政策推進課への聞き取り調査
  未利用財産の売却や外郭団体等の適正運営の状況について

調査報告概要

未利用財産の売却の推進

現在の状況

・公募等による売却をはかるとともに、物件パンフレットの作成や広報紙・ホームページへの掲載を行い売却促進をはかっている。
・解体により売却などが見込まれるものについては解体を進めている。

抱えている課題

・敷地内の雑草除去を含む物件の維持管理
・条件の悪い物件の売却見込みが低いこと
・好立地だが残っている建物の解体費用が負担となる物件の存在

委員からの質問

Q　未利用財産の維持管理費は年間いくらか。
A　令和3年度は約230万円で、令和4年度は11月まで約300万円です。

公共施設の再編等によって発生した未利用財産（一部）

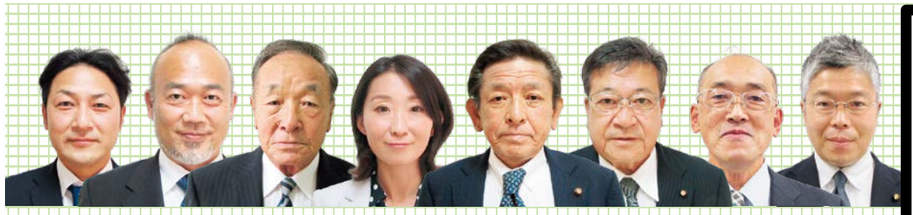
旧峠市営住宅跡地
（大柿町大原）

旧鹿川保育園
（能美町鹿川）

旧楠田会館
（大柿町柿浦）

産業厚生 常任委員会

産業部、土木建築部、企業局、農業委員会、市民生活部、福祉保健部および福祉事務所の所管に関する事務



筧本委員　美濃委員　沖元委員　長坂副委員長　沖委員長　吉野委員　平川委員　上本委員

主な活動内容

- 10月12日（水）
  農林水産課への聞き取り調査
  有害鳥獣対策、特にイノシシ対策について
- 11月9日（水）
  有害鳥獣対策の現状と課題について、担当部局へ提出する質問事項のとりまとめ
  保健医療課から説明を聴取
  「健康なまちづくり事業報告書（平成30年度～令和2年度事業）」について
- 12月21日（水）
  有害鳥獣対策の質問事項への回答を基にした協議や今後の取り組み項目について

調査報告概要

有害鳥獣（イノシシ）対策

質問事項への回答（抜粋）

Q　捕獲班の平均年齢は64歳、後継人材確保や育成は。
A　有害鳥獣捕獲対策協議会で早急に検討します。

Q　捕獲意欲を保てるよう捕獲報償金を引き上げては。
A　限られた財源で効果的な対策を講じるには、捕獲に偏るのではなく、防除と環境改善を一体とした総合防除対策が必要と考えます。そのため、捕獲報償金の引き上げは慎重に検討します。

Q　予算の増額は不可欠。対策の強化を強く求める。
A　限られた予算と人員等で最大限の効果が発揮できるよう、関係部局と協議を進めます。

Q　最も効果的な対策は。
A　地域を主体とした「総合防除（防除、環境改善、捕獲の一体的な取り組み）」であると考えます。
　具体的には、①えさ場をなくす。②潜み場をなくす。③囲える畑を守る。④人里は怖いと覚えさせる。⑤加害個体を捕獲する。この順番での対策が効果的とされています。
　有害鳥獣の生態や適切な防除、環境改善等について研修会等を開催していきます。

集落単位での研修会の様子

まとめ

今後、当委員会として効果的なイノシシ対策について知見を深めるとともに、市の取り組みを一層注視していきます。

教えて！議会のこと

市議会ってどんなことをしているの？わがまちのマスコットキャラクターたちから投げ掛けられる質問に議会広報特別委員会がお答えします！

今号の質問者

江田島市公共交通イメージキャラクター

のるる

令和４年11月に誕生！
体は江田島の形。ほっぺは桜。
船の帽子とバスのかばんを持っています。
公共交通に Let's のるる～！！

のるる

市議会議員って何をするの？

委　員

市議会議員は公職（選挙で選ばれる職及び職務）で、市民にとって住みよい地域のために尽力するのが仕事なんだ。

のるる

みんなのために働くのが市議会議員なんだね。じゃあ、議員にはどんな権限があるの？

委　員

地方公共団体の予算を決定する権限、条例を制定する権限、首長を問責する権限などがあって、法律で決まっているんだよ。

のるる

そうなんだね、だから地域の住民の代表なんだね。明るい地域の未来のために、大きな責任を持っているんだね。市議会議員は、議員以外の仕事もできるの？

委　員

市議会議員は非常勤の特別職なんだよ。つまり、定年や労働時間の規制がある一般職とは違うし、通常の所定労働時間を通じて勤務する常勤じゃないんだよ。議員以外の民間の仕事も兼業できるんだ。

のるる

昨年末に改正地方自治法が参議院で可決・成立し、地方議員の兼業規制が緩和されることになったね。議員のなり手不足が解消されるといいね。

～編集後記～

あけましておめでとうございます。

輝かしくよき新春を迎えられたことを、謹んでお慶び申し上げます。

今年の干支は『卯』。成長や飛躍、豊穣、子孫繁栄などの意味があります。新型コロナウイルス感染症の収束を願うとともに、皆さまにとって飛躍の年となりますよう、心よりお祈りいたします。

この議会だよりが、市民の皆さまにとって役に立ち親しみやすい広報紙となるよう、委員一同取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

平本　美幸

議会広報特別委員会
委員長　長坂　実子
副委員長　上本　雄一郎
委　員　岡野　数正
委　員　美濃　英俊
委　員　平本　美幸
委　員　宮下　成美

●発行／江田島市議会　●編集／議会広報特別委員会　●問い合わせ／江田島市議会事務局
〒737-2193　広島県江田島市江田島町中央１丁目１番１号　TEL(0823)42-6310　FAX(0823)42-6315